



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月13日

上場会社名 株式会社 安楽亭

上場取引所 東

コード番号 7562 URL <http://www.anrakutei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳 時機

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 安部 一夫

TEL 048-859-0555

四半期報告書提出予定日 平成30年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	4,150	△1.6	92	△20.5	88	△21.5	40	△51.8
30年3月期第1四半期	4,218	1.8	115	192.6	112	233.7	84	116.2

(注)包括利益 31年3月期第1四半期 39百万円 (△54.7%) 30年3月期第1四半期 87百万円 (167.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	19.12	—
30年3月期第1四半期	39.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	15,138	6,287	41.5
30年3月期	15,467	6,248	40.4

(参考)自己資本 31年3月期第1四半期 6,287百万円 30年3月期 6,248百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年3月期	—				
31年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,555	0.4	250	49.7	240	52.9	85	6.3	39.75
通期	16,870	△0.5	390	12.1	370	15.6	90	△39.6	42.09

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	2,150,434 株	30年3月期	2,150,434 株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	11,985 株	30年3月期	11,985 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	2,138,449 株	30年3月期1Q	2,138,642 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が進み、緩やかな回復基調で推移する一方で、可処分所得の伸び悩みを反映し、個人消費は力強さに欠ける状況となりました。また、海外では米国発の貿易摩擦懸念から、先行き不透明な状況が続きました。

外食産業におきましては、原材料価格の高止まりや人手不足を背景とした人件費高騰に加え、消費者の生活防衛意識による節約志向の高まりから、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境の下、当社グループは経営理念である「食を通じて地域社会の豊かな生活文化の向上に貢献する」に基づき、お客様のご要望に合う魅力あふれる「安全・安心」に配慮した商品の提供に加え、おもてなしの心を込めたサービスの提供に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高41億50百万円（対前年同期比1.6%減）、営業利益92百万円（対前年同期比20.5%減）、経常利益88百万円（対前年同期比21.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益40百万円（対前年同期比51.8%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 安楽亭業態

安楽亭業態の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は188店舗であります。内訳は直営144店舗、暖簾12店舗、FC32店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「春満開！るんるん宝くじ」、「とろ〜りチーズと韓国グルメフェア」、「リッチな甘みのいちご&チョコスイーツフェア」、「映画『焼肉ドラゴン』コラボフェア」、「飲み放題キャンペーン！2,980円」等、安楽亭の楽しさを伝えるフェアを行ってまいりました。

以上の結果、安楽亭業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は34億50百万円（対前年同期比1.4%減）となり、セグメント利益（営業利益）は2億1百万円（対前年同期比16.7%減）となりました。

② 七輪房業態

七輪房業態の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は27店舗であります。内訳は直営23店舗、暖簾2店舗、FC2店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「新生活応援フェア」、「七輪房だからできる、上質な国産牛の食べ放題」、「毎月27日を含む週は七輪房の日！スペシャルクーポン配信」等、七輪房の楽しさを伝えるフェアを行ってまいりました。

以上の結果、七輪房業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は5億98百万円（対前年同期比5.5%増）となり、セグメント利益（営業利益）は44百万円（対前年同期比14.4%減）となりました。

③ その他業態

その他業態の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は9店舗であります。内訳は直営4店舗、FC5店舗であります。

なお、その他業態には、「からくに屋（焼肉）」、「国産牛カルビ本舗安楽亭（焼肉）」、「花炎亭（焼肉）」、「安楽亭ベトナム（焼肉）」、「春秋亭（和食）」、「上海菜館（中華）」、「ロンチャン（中華）」、「AGRICOCO（イタリアン）」、「カフェビーンズ（喫茶）」を含んでおります。

以上の結果、その他業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は1億2百万円（対前年同期比32.6%減）となり、セグメント損失（営業損失）は2百万円（前年同期はセグメント損失11百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ3億29百万円減少し、151億38百万円となりました。これは、借入金の返済による現金及び預金の減少、減価償却による有形固定資産の減少等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ3億68百万円減少し、88億50百万円となりました。これは、借入金の減少等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ39百万円増加し、62億87百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等が要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成30年5月11日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,865,547	2,646,265
受取手形及び売掛金	415,774	348,713
商品及び製品	133,869	135,434
仕掛品	854	732
原材料及び貯蔵品	475,929	556,651
前払費用	202,916	210,553
その他	96,727	95,200
貸倒引当金	△226	△219
流動資産合計	4,191,392	3,993,330
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,880,068	2,821,663
機械装置及び運搬具(純額)	100,151	99,721
工具、器具及び備品(純額)	355,084	343,328
土地	5,003,923	5,003,923
リース資産(純額)	54,545	44,762
建設仮勘定	2,255	2,855
有形固定資産合計	8,396,029	8,316,255
無形固定資産		
のれん	54,460	51,056
その他	131,862	132,056
無形固定資産合計	186,322	183,112
投資その他の資産		
投資有価証券	94,931	92,070
長期貸付金	6,377	6,276
長期前払費用	21,149	19,168
繰延税金資産	142,875	116,124
敷金及び保証金	2,416,304	2,400,518
その他	38,333	37,708
貸倒引当金	△26,289	△26,238
投資その他の資産合計	2,693,682	2,645,628
固定資産合計	11,276,033	11,144,996
資産合計	15,467,426	15,138,326

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	624,620	611,451
短期借入金	901,818	929,916
リース債務	40,802	38,737
割賦未払金	188,346	184,422
未払金	169,967	190,705
設備関係未払金	75,226	22,631
未払費用	506,328	533,934
未払法人税等	149,631	44,108
未払消費税等	126,076	128,314
賞与引当金	72,800	41,529
転貸損失引当金	13,297	13,297
その他	569,890	487,102
流動負債合計	3,438,806	3,226,152
固定負債		
長期借入金	4,367,797	4,264,503
リース債務	16,786	8,395
長期割賦未払金	577,561	534,243
繰延税金負債	105,383	106,190
役員退職慰労引当金	351,481	356,521
転貸損失引当金	49,430	46,106
退職給付に係る負債	213,628	213,842
その他	98,534	95,034
固定負債合計	5,780,602	5,624,836
負債合計	9,219,409	8,850,988
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,182,385	3,182,385
資本剰余金	2,537,261	2,537,261
利益剰余金	599,159	640,042
自己株式	△70,998	△70,998
株主資本合計	6,247,807	6,288,691
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	209	△1,707
為替換算調整勘定	—	354
その他の包括利益累計額合計	209	△1,353
純資産合計	6,248,017	6,287,337
負債純資産合計	15,467,426	15,138,326

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	4,218,619	4,150,744
売上原価	1,514,571	1,521,323
売上総利益	2,704,047	2,629,421
販売費及び一般管理費	2,588,203	2,537,283
営業利益	115,844	92,137
営業外収益		
受取利息	413	349
受取配当金	1,109	1,095
受取地代家賃	1,722	1,863
貸倒引当金戻入額	186	57
その他	15,396	12,765
営業外収益合計	18,829	16,132
営業外費用		
支払利息	19,313	17,584
その他	2,867	2,398
営業外費用合計	22,181	19,982
経常利益	112,491	88,286
特別損失		
固定資産除却損	403	—
賃貸借契約解約損	3,182	1,556
訴訟和解金	5,000	2,050
特別損失合計	8,585	3,606
税金等調整前四半期純利益	103,906	84,680
法人税、住民税及び事業税	16,578	17,046
法人税等調整額	2,471	26,750
法人税等合計	19,050	43,797
四半期純利益	84,855	40,883
親会社株主に帰属する四半期純利益	84,855	40,883

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	84,855	40,883
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,346	△1,917
為替換算調整勘定	—	497
その他の包括利益合計	2,346	△1,420
四半期包括利益	87,201	39,463
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	87,201	39,463

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	3,499,692	567,436	151,489	4,218,619	4,218,619	—	4,218,619
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,499,692	567,436	151,489	4,218,619	4,218,619	—	4,218,619
セグメント利益又は 損失(△)	241,945	51,942	△11,753	282,134	282,134	△166,290	115,844

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「安楽亭業態」セグメントにおいて、日総開発㈱から1店舗を譲り受けたことにより、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては37,666千円であります。

「その他業態」セグメントにおいて、日総開発㈱から2店舗を譲り受けたことにより、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては30,408千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	3,450,144	598,561	102,038	4,150,744	4,150,744	—	4,150,744
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,450,144	598,561	102,038	4,150,744	4,150,744	—	4,150,744
セグメント利益又は 損失(△)	201,571	44,480	△2,118	243,933	243,933	△151,796	92,137

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。